

令和7年 7月14日 一般職員研修会のご報告

令和7年度の一般職員研修会は会津地区にておこないました



福島県会津若松市にある会津アピオアピオスペース大会議室にて一般職員研修会が開催され、森重勝会長があいさつをいたしました。ご参加いただいた皆様、担当された会津地区の皆様ありがとうございました。



身体拘束廃止及び高齢者虐待防止について ～高齢者の尊厳を守るケアを目指して～

講師 公益財団法人会津若松医師会

会津若松市在宅医療・介護連携支援センター

大堀 晃寛 氏

講演ではグループワークもおこない、
参加者も発言しながら 充実した研修会となりました

- ▶ なぜ虐待が起こると思いますか？
- ▶ どうしたら虐待が防げるとと思いますか？

グループワークにてそれぞれたくさんの意見が出ておりました。

「BPSD」「チャレンジング行動」等様々な話題に挙がり、大堀氏をはじめ参加者全員で話し、あらためて虐待問題を考えました。ほかの事業所の方々と意見交換できる貴重な時間となりました。

また実際に、虐待の発生要因としては「教育・知識・介護技術」に関する問題が大半との事でした。次いで、ストレスや感情コントロール、職員自体の性格・資質の問題だそうです。ほかには、職場の環境が要因としてあげられていました。支援が支配にならないように気を付けなければならないというお話もありました。



組織全体で
サービス・ケアの向上
発生要因を防止

- ▶ 利用者の望む暮らしの実現
- ▶ 「したい」を実現 「したくない」を尊重

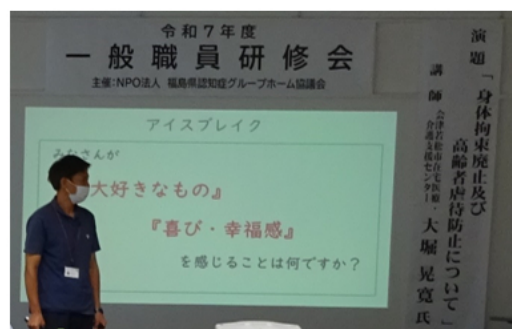
「したい」を実現できる、より良いサービス・ケアの追求が、結果的に「したくない」を尊重し、不適切なケア（虐待の芽）を摘み取ることへつながっていくとお話がありました。

（公財）東京都福祉保健財団高齢者権利擁護支援センターが作成した「虐待の芽チェックリスト」の紹介もありました。参加されなかった事業所のみなさまもネットにて掲載されています。ぜひご活用ください。

Q1、本日の研修はいかがでしたか？				
とても良かった	良かった	普通	あまり良くない	良くない
9	8			
(回答17名/参加者21名)				

Q2、今回の研修に参加して何か印象に残るものがありましたか？

- ・高齢者虐待につながる不適切なケアは無くなるわけではなく、日々話し合っていくことの大切さを学びました。
- ・利用者の決定する意思を大切にしていこうと考えたいと思いました。
- ・介助者側に都合が優先されると「支援ではなく、支配になる。」という言葉が印象に残りました。
- ・自分の傾向を意識すること。自己覚知することが大事でコントロールしながらケアしたい。
- ・虐待として、立ち上がる能力がある人の立ち上がりを防ぐような椅子を使用する→支配者本位の心理＝支配であるとの言葉は、まさにその通りだと実感した。
- ・BPSDへのケアの説明
- ・虐待の線引きが不適切ケアを生んでしまう。トライ＆エラーでやっていくしかない。
- ・虐待についてどうしたら防げるのか→現場の中で検証していくことが大切であるということ。
- ・間違ったケアを行うと職場全体に間違った方向に行ってしまう。自分事として深掘りし考えていく。
- ・高齢者虐待はなくなる。答えはない。→現場で日々検証していくことチームで考えていくことが大事。
- ・皆で話し合い良くなることを考えて、虐待などが起こらないようにしていきたいと思います。
- ・100%防ぐことは難しいですが、日頃から丁寧に「不適切では」ということを皆で話し合い検証していくことが重要だと改めて思いました。
- ・悪性の心理と有害なケアは、ほぼ「毎日」直面する。課題として再確認することが出来ました。
- ・不適切なケアに向うかの分岐点がある。どう捉えるかどう考えるかでケアの仕方が変わり、関わり方も変わる
- ・身体拘束・虐待について、線引きが曖昧な部分もあったり、会社の風土も悪くなってしまう事もあると感じた
- ・原因が無い結果は無いとの言葉が印象に残りました。「なぜ？どうして？」を話し合っていきたいです。



充実した研修会となりました。

大堀先生ご講演ありがとうございました。



特定非営利活動法人

福島県認知症グループホーム協議会

会員状況 (令和7年7月24日現在)

- 正会員 173事業所
- 準会員 8団体・個人1名
- 認知症デイ 事業所・小規模 事業所

※管理者・ユニット数など届出事項に変更があった場合には、速やかに事務局まで連絡くださるようお願いいたします。

福島県GH協通信 第52号

令和7年 7月 24日

<編集・発行>

〒960-1241 福島市松川町字産子内1-1

福島県認知症グループホーム協議会 事務局

TEL 024-572-7630 FAX 024-572-7631

メールアドレス: fukushimaninchi@cyber.onc.ne.jp

